

令和6年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・漢字や語彙の学習においてプリントやワークブックを用い、継続的な家庭学習の習慣を醸成することで学習の下地を作り出すことができた。
- ・対話的な課題解決を設定することで、思考力や表現力を高めることができた。

(2) 課題

- ・主体的に学習に取り組む態度について、学習の見通しを明確に示すことや相互評価を行うことで学習課題の価値に気づかせ、主体的に学ぼうとする意欲を喚起する必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	区の標準スコアよりも下回っている。		
第2学年	区の標準スコアよりも下回っている。	区の標準スコアよりも上回っている。 (第1学年時)	
第3学年	区の標準スコアよりも下回っている。	区の標準スコアよりも上回っている。 (第2学年時)	区の標準スコアよりも上回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
校内平均正答率は目標値、区平均正答率、全国平均正答率ともに下回っている。	校内平均正答率は目標値を上回っているが、区の平均正答率、全国平均正答率を下回っている。	校内平均正答率は目標値を上回っているが、区の平均正答率、全国平均正答率を下回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
校内平均正答率は目標値、区平均正答率、全国平均正答率ともに下回っている。	校内平均正答率は目標値を上回っているが、区の平均正答率、全国平均正答率を下回っている。	校内平均正答率は目標値、区平均正答率、全国平均正答率ともに下回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
校内平均正答率は目標値、全国平均正答率を上回っているが区の平均正答率を下回っている。	校内平均正答率は目標値、区平均正答率、全国平均正答率ともに下回っている。	校内平均正答率は目標値、区平均正答率、全国平均正答率ともに下回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
新出の語句の意味を調べるなど語彙力を高める活動を授業内で行う。 漢字の学習をワークブックで行う。進捗状況を都度を確認し継続的な家庭学習の習慣を身に付けさせる。	ICT 機器等も活用し、書くことの活動を行い、考える力を身に付けさせる。また、グループでの話合いや発表などの多様な活動を取り入れながら、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を養う。	各授業や单元ごとに振り返りを行い、自らの学習について理解し、調整することができるようにする。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
新出の語句の意味を調べるなど語彙力を高める活動を授業内で行う。 漢字の学習をワークブックで行う。進捗状況を都度を確認し継続的な家庭学習の習慣を身に付けさせる。	ICT 機器等も活用し、書くことの活動を行い、考える力を身に付けさせる。また、グループでの話合いや発表などの多様な活動を取り入れながら、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を養う。	各授業や单元ごとに振り返りを行い、自らの学習について理解し、調整することができるようにする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
新出の語句の意味を調べるなど語彙力を高める活動を授業内で行う。 漢字の学習をワークブックで行う。進捗状況を都度を確認し継続的な家庭学習の習慣を身に付けさせる。	ICT 機器等も活用し、書くことの活動を行い、考える力を身に付けさせる。また、グループでの話合いや発表などの多様な活動を取り入れながら、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を養う。	各授業や单元ごとに振り返りを行い、自らの学習について理解し、調整することができるようにする。